学校番号	１０２

平成 31 年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済　新訂版　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世の中の動きに関心を持つ。「なぜ、そういうことが起こるのか？」「どうすれば解決できるのか」という視点を持って、ニュースなどを見る。そのために、この授業では、政治・経済の基本的な仕組みや考え方を具体的な事例で学習していく。その中で、多角的・多面的に物事を見る力をつける。

2　学習の到達目標

１．広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。
２．現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる。
３．現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究する態度を身につけている。 ・国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	・現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえながら公正に判断している。	・現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、且つ集めた情報を主体的に選択し効果的に活用している。 ・学習を通して追究した過程や結果を、的確に表現している。	・現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代国家と民主政治	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	○ ○ 	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a: 前年度の世界史学習を思い起こしつつ、民主主義のあり方に関して、深い興味を抱いている。 b: 西洋で発達した民主主義の原理が、日本の政治機構の仕組みにどう影響を与えたか考察している。主要国の政治制度と日本の政治制度とを、比較して考察している。 c:民主主義の基本的な考え方について、思想家たちの著書から内容を確認している。 d:社会契約説や権力分立、主要国の政治制度などに関して正しい知識を身につけている。	ワークシート 授業態度 定期考査
	日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原理 ・自由に生きる権利(1) ・自由に生きる権利(2) ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりと公共の福祉	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:日本国憲法の成立過程に対し興味・関心を抱いている。現実の人権問題に対して関心を示している。 b:大日本帝国憲法と日本国憲法を比較して考察している。憲法と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の在り方を判断している。 c: 日本国憲法の成立や人権保障に関する情報を、様々な手段を使い収集している。 d: 日本国憲法の成立過程について、史実と関連させて適切に理解している。人権保障に関連する日本国憲法の基本的条規について、正しい理解を示している。	ワークシート 授業態度 定期考査

	日本の政治制度と政治参加	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と民主政治	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	a:政党や、国民が参政する選挙について関心を抱くとともに、政治参加の在り方について考察しようとしている。 b: 憲法条規上の統治機構の規定と、現実の三権の状況や中央と地方との関連などを的確に比較し考察している。 c: 統治機構に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、学習のために主体的に選択している。 d: 統治機構について、憲法条規に照らし合わせて、その仕組みや権限、相互の均衡と抑制の在り方などを理解している。日本の政党や政党政治について、理解している。	ワークシート 授業態度 定期考査
	現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・第二次世界大戦後の国際政治 ・冷戦終結後の国際政治 ・軍拡競争から軍縮へ	 ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a. 最新の国際社会における政治の動向に対して、関心が高まっている。国際紛争の要因を意欲的に探究している。 b. 国内政治と国際政治の違いを考察している。国際連合の在り方について、現実の政治状況を踏まえ、様々な考え方を踏まえ公正に判断している。 c. 現代の国際社会における政治の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。 d. 国際対立の歴史を通じ、国際間の相互依存、紛争の平和的解決のための国際機構や国際法が発達してきたことを理解し、その知識を身につけている。 ・核兵器と軍縮、難民問題といった今後解決すべき国際社会の諸課題について、的確な理解を示している。	ワークシート 授業態度 定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	日本の平和主義と国際平和	・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・21 世紀の平和主義 ・日本の外交と国際社会での役割	○ ○	○ ○	○	○	a.現実の平和主義にかかわる問題に対して関心を示している。 b.平和主義の憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察している。 c.平和主義に関して収集した資料を、自ら設定した課題解決のために活用している。 d.平和主義に関連する日本国憲法の基本的条規について、正しい理解を示している。	ワークシート 授業態度 定期考査
	経済社会の変容	・資本主義経済の成立と発展 ・現代の資本主義経済	○	○	○	○	a. 今日の経済全般について関心が高まっている。 b. 経済体制の国際比較を行うなど多面的・多角的に考察している。 c. 経済体制の現状に関する情報を、様々な手段を使い収集している。 d. 資本主義経済の特質について的確な知識を有するとともに、グローバル化した現在の世界経済の現状に対しても十分に理解を示している。	ワークシート 授業態度 定期考査

	現代経済のしくみ	・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。 b:現実の経済活動と対応させながら経済主体間の経済循環を、考察している。金融や財政についての基本的知識をもとに、現実の金融・財政問題やその解決方法について、主体的に判断をしている。 c:経済の統計資料を的確に収集している。 d:適切な価格決定や資源配分といった市場経済のもつ特性を理解している。金融や財政に関する基本的な知識をもとに、金融改革や財政改革といった日本経済の課題に対する十分な理解を示している。	ワークシート 授業態度 定期考査
	現代の日本経済と福祉の向上	・戦後復興から高度経済成長へ ・安定成長からバブル経済へ ・日本経済の課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○ ○	a. 日本経済が置かれている現状に対して深い関心を抱いている。戦後日本経済が歩んだ流れを追究しようとする意欲的な態度が見られる。 b戦後日本経済史との関連の中で、経済発展のための効率性の追求と、国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を、労使関係や社会保障を題材として的確に判断している。 c. 戦後日本経済史に関する史料を、様々な文献から幅広く収集している。 d. 公害、労働問題や社会保障といった日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有する 。	ワークシート 授業態度 定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d		
3学期	現代の国際経済	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向(1) ・国際経済の動向(2) ・発展途上国の諸問題 ・経済協力と日本の役割	 ○ ○	 ○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:現代の国際経済の動向に対する関心が高まっている。 b:現代の国際経済の動向から、課題を見いだしている。競争原理を前提としたグローバル化の弊害についても的確な判断を示している。 c:現代の国際経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。 d:国際経済に関する基本的な知識を習得している。自由貿易を前提とした戦後国際経済の流れを理解している。グローバル化が進む国際経済の動向の中で、地域的経済統合や南北問題の新たな局面を理解している。	ワークシート 授業態度 定期考査

	現代社会の諸課題	・現代日本の諸課題 ・国際社会の諸課題	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a. 現代日本及び国際社会の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、望ましい解決の在り方を考察しようとしている. b. 現代日本及び国際社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断している。 c. 現代日本及び国際社会の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。 d. 現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。国際社会における日本の立場と役割など、国際社会の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。	レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。